



先人は優れたデザイナーだった ~ 町並みは芸術作品 ~

先人達は、風景を一つのフレームとしてとらえ、青い空、緑の山に建物をどう描けるかを考えていました。写真のように寺山や鎮海山の山麓の景観を活かし、屋根の形や配置を組み合わせる変化をつけ、V字形のジグザグに構成されるスカイラインを創り出しています。また、通りに庇を出すことで光と影を演出し、建物に多様な表情を与える工夫をしています。住居に莫大な労力と財力をかけ、町並みを芸術の域まで高めた先人達の偉業は、時を越え、竹原の特徴として学術的にも高く評価されています。



多様な屋根で構成されるV字形のスカイライン

《屋根の形》

切り妻屋根
屋根の最頂部の棟から両側に流れをもつ。ローコストで雨漏りが少ない屋根。

入母屋屋根
上部は切妻で、下部は寄棟造(前後左右四方向へ勾配をもつ)の構造をもつ。格式の高い屋根。

《屋根の向きと出入口》

平入と妻入
出入口側に屋根が三角形に見える建物を妻入、出入口側に屋根が四角形に見える建物を平入。竹原の町並みは、平入と妻入の建物が入り混じり、特徴的な景観のひとつとなっています。

ほん がわら

本瓦

2種類の瓦
丸瓦と平瓦が
合体したもの。

さん がわら

椀瓦

瓦は1種類。

本瓦は江戸時代以前から伝わる伝統的な屋根瓦です。一方の椀瓦は江戸時代に開発され、簡単・安価な方法として全国に普及しました。竹原の町並みでは、通りから見える部分には本瓦を使い、見えない部分には椀瓦を使うなど、通りからの見栄えを良くする工夫がされています。

探してみよう! こだわりのデザイン

格子



出格子
通りに向かって突き出た格子。通りからよく見える部分なので、凝った造りのものが多くあります。

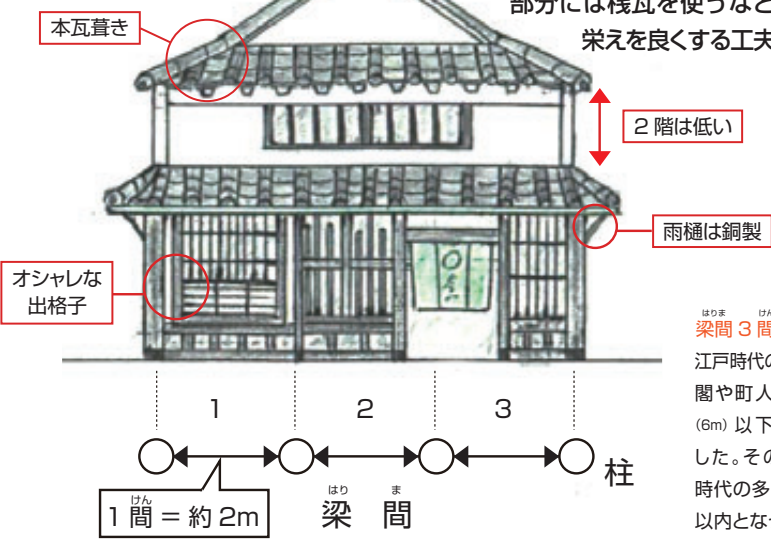


塗籠格子
漆喰で塗り固められた格子。2階の格子によく使われ、格子を菱形に組み合わせて、デザイン性を高めたものもあります。



透かし彫り
透かし彫りのある格子。上は蝙蝠のデザイン。蝙蝠は「蝠の字が福に通じる」として、江戸時代には縁起物でした。

江戸時代の町家



胡堂の縁起物



商売の神様である胡堂には、色々な縁起物が隠れています。屋根の上には鶴と亀の他にも、花が咲いたら必ず実をつける茄子や株とかけて「株が上がる」とされる蕪があります。

多様な色

